Wataru KITAO

1987年兵庫県生まれ。幼少より舞台芸術に携わる。2009年ダンスカンパニー [Baobab]を旗揚げ。"土着的でリズミカルに躍動する群舞"と"演劇的視点で描く 圧倒的世界観"を特徴に、単独公演ほか国内外のフェスティバルに参加。振付家として、柿喰う客、ロロ、木ノ下歌舞伎など舞台作品のほか、TVドラマ、CM、映画へ多数振付。ダンサー・俳優として、近藤良平、熊谷拓明、多田淳之介、杉原邦生、山本卓卓などの作品に出演。WS講師やアウトリーチ活動を日本全国で展開。平成27年~28年度・平成30年~令和3年度までダン活登録・支援アーティストとして、全国で15事業実施に携わる。尚美学園大学、桜美林大学、多摩美術大学非常勤講師。

所属カンパニー Baobab

ホームページ http://dd-baobab-bb.boo.jp

アーティスト在住地 神奈川県川崎市アーティスト出身地 神奈川県川崎市



Photo:ふじまつたえこ

Ⅱ活動歴・受賞歴Ⅱ

〇活動歴

〈2013年10月〉 KYOTO EXPERIMENT2013公式プログラム 参加 Baobab二都市往復ツアー「家庭的1.2.3」

〈2015年1~3月〉木ノ下歌舞伎再演ツアー『黒塚』(出演・振付/演出: 杉原邦生) 全国5都市上演

〈2016年3月~〉Baobabディレクション

〈2016年8月〉 せたがやこどもブロジェクト2016〈ステージ編〉 『兵士の物語』 @シアタートラム (主演/振付: 近藤良平)

〈2016年9~10月〉Baobab第10回本公演ツアー『靴屑の塔』 @ 吉祥寺シアター、他3都市上演

〈2018 年 6 月〉SAN FRANCISCO International Arts Festival 招聘 Baobab 『笑う額縁-Laughing Frame-』@Firehouse(ア メリカ サンフランシスコ)

〈2021年1~9月〉Baobab 『アンバランス』

@シアタートラム他、5都市上演

〈2021年10月〉東京芸術祭2021主催プログラムBaobab 『ジャ

ングル・コンクリート・ジャングル』@あうるすぼっと 〈2022年11月〉東京芸術祭2022 芸劇オータムセレクション 『となり街の知らない踊り子』(出演・振付/演出:山本卓卓)@東 京芸術劇場シアターイースト

○受賞歴

《2010》 コンドルズ振付コンペティション(CCC)準グランプリ 《2012》 トヨタコレオグラフィーアワード2012オーディエンス賞 《2014》 第3回エルスール財団新人賞コンテンポラリーダンス部門 《2018》 横浜ダンスコレクション2018コンペティション 「ベストダンサー賞

〈2020年〉ベッシー賞(ニューヨーク・ダンス&パフォーマンス賞) 『OUTSTANDING PERFORMER部門』ノミネート

┃ワークショップ歴 ┃

〈2013年8月〉「夏休み限定!吉祥寺シアターダンス部2013」(対象:中学生、高校生場所:古祥寺シアター稽古場) 主催:武蔵

野文化事業団

《2017年1~2月》パフォーマンスキッズ・トーキョー 伊豆七島 プログラム「八丈町立大賀郷小学校」主催: アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人芸術家と子どもたち

〈2018年8月~2019年11月〉神奈川県青少年センター演劇活用青少年支援事業「神奈川県立子ども自立支援センターきらり」 (対象:障害児、心理治療児童)主催:神奈川県青少年センター〈2018年11月~2020年2月〉「キタQアーティストふれあいプログラム」対象:北カ州市立小学校4校)主催:北九州芸術文化振興財団

〈2020年8月~〉新国立劇場「中高生のためのどっぷり演劇 Daysオンライン」(対象:中高生)主催:新国立劇場 〈2022年11月~〉岡山芸術創造劇場 ハレノワ ブレ事業 ハレルワークショップ「100人ダンス」

主催:(公財)岡山文化芸術創造、共催:岡山市

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

❶学校でのアウトリーチ

『日常動作やモノマネから始まるダンス』 日常の中でのストーリーや、実際に見たり触れたり している物を題材に、ダンスに繋がる楽しさを伝え ます。(小・中・高校で実施)

❷地域サークルでのアウトリーチ

『ゆったりストレッチ構座』

ヨガやフラなどご老人のサークル活動の中で、新たな体ほぐしの方法を提案しながら、ダンスの新たな魅力を提案します。(高齢者に実施)

❸教育大学でのアウトリーチ

『アウトリーチを通したダンスの触れ合い方』

地域住民や生徒とどう関わりを持つかを、日頃の 活動やワークショップのデモンストレーションを通 してプレゼン形式で手渡します。(大学生に実施)

◎実施条件 (共通)

▶アシスタント (応相談): 有りの場合、1名希望 ▶参 加適正人数: 20~30名程度 (アシスタント有りの場合、60名まで対応) ▶1日の実施可能時間回数: 90~180分 (要相談)・最大3コマ(1コマ/120分の場合) ▶必要機材:電源2口(ポータブルスピーカー・PC用) その他注意事項: 裸足での実施を希望する場合あり

公募ワークショップ

●初心者向けワークショップ

ダンス未経験者、老若男女問わず幅広い方々に向けて丁寧にダンスの魅力に触れていただきます。

❷ダンス経験者向けワークショップ

様々なジャンルのダンスに携わる方々と、互いの違いや共通点を確かめながら、ダンスで交流を図ります。

◎実施条件 (共通)

▶アシスタント(応相談): 有りの場合、1名希望 ▶参加適正人数: 20~30名程度 ▶1日の実施可能時間・回数: 90~210分(要相談)・最大3コマ(1コマ/120分の場合) ▶必要機材: 電源2口(ポータブルスピーカー・PC用) ▶その他注意事項: 裸足での実施を希望する場合あり

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

●『笑う額縁』

[ダンスを絵画・ダンスジャンルを額縁] に置き換え、 枠組みを打破しようと勇むエネルギッシュな作品。

▶上演時問:30~50分 ▶出演者数:3名(登録アーティスト+共演者) ▶同行スタッフ:照明1名(応相談) ▶現地スタッフ:音響、舞台監督各1名 ▶上演環境: (1)会場の広さ・形状:8mX8m程度(2)リノリウム: 黒(他の色でも可)(3)必要機材、舞台セット:マイク・劇場舞台 備品

②『UMU·うむ』

[生む・有無・膿む] 3つのテーマを内包し、多様

な身体性と映像演出で描くソロ作品。

▶上演時間:30~60分(伸縮可) ▶出演者:登録アーティスト1名 ▶同行スタッフ:映像オペレーター1名 ▶ 現地スタッフ:照明、音響、舞台監督各1名 ▶上演環境: (1) 会場の広さ・形状:6m×6m 程度以上(2) リノリウム:黒(3)必要機材、舞台セット:ホリゾント幕(スクリーン幕)使用 ▶その他:『笑う額縁』と同時上演可

市民参加作品

●『まほう』(宮古市民文化会館Bプログラム 2022年初演)

レパートリー作品に参加者が一体となって出演。本

来10名で構成する作品の様々なシーンを参加者の 特性に合わせ担ってもらう。

▶上演時問:60~75分 ▶出演者数:3名(登録アーティスト+共演者2名)▶市民参加公演の形態:市民参加公演(クリエーションワークショップ参加者との協働作品)▶クリエーションワークショップの参加(出演)人数回数:10名程度・3~5回程度▶同行スタッフ:映像オペレーター1名▶現地スタッフ:照明仕込み、音響、舞台監督各1名▶上演環境:(1)会場の広さ・形状:8m×8m程度(2)リノリウム:黒(他の色でも可)(3)必要機材、舞台セット:マイク